

授業科目名	【G】	自然地理学Ⅱ	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
	【H】	自然地理学Ⅱ			【H】1		【H】2	
	【I】	自然地理学Ⅱ	選 択		【I】1		【I】2	
科目区分	基本科目:【G・H・I】教科及び教科の指導法に関する科目(中社・地歴・---)							
授業形態	オンライン開講							
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための(中社選択・地歴選択・---)科目 【H】 教員の免許状取得のための(中社選択・地歴選択・---)科目 【I】 教員の免許状取得のための(中社選択・地歴選択・---)科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項:「地理学(地誌を含む)」「(中一種社会) 「人文地理学・自然地理学」(高一種免地歴)							
サブタイトル	自然地理学 応用			担当者	小関 勇次			
授業概要	【概要】	【実務経験を活かした授業】 高校地理歴史科教諭の経験を活かし、地理的領域における指導内容及び地理的技能を習得させ、教壇に立てるだけの知識と技能を身につけさせる。 【概要】 自然地理学Ⅱでは自然地理学Ⅰの応用として、地形図読解演習・空中写真判読演習などの地理的技能を習得する。特に、自然と災害の関わりに注目して、災害リスク・被害想定などの地形解析の技能を習得させる。また、地球環境問題の事例を中心に人間活動と自然環境の調和の在り方について学ぶ。						
	【到達目標】	1 地形解析に必要な地形図の読解・空中写真の判読・自然地理学調査法などの地理的技能を習得している。 2 自然災害について災害リスクを予見し、被害想定ができる。 3 地球環境問題を説明できる。						
履修条件	特になし							
アクティブラーニングの方法	【-】	事前学習型	【○】	反転授業	【-】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	○ (やや当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との関連性	自然地理学Ⅰを履修していること。また、教職課程履修者は地理歴史科指導法Ⅰ・地理歴史科指導法Ⅱも履修することが望ましい。							
教科書	使用しない							
参考書	「新詳高等地図」古今書院 高等学校で使用した地図帳の代用可							
評価方法	オンデマンド授業。毎回課題が課され提出が必修となる。提出された課題の回数(10回以上の提出が単位取得の条件)と課題内容で評価(100%)する。							
フィードバック方法	ワークシートの解説、課題の解説、模範解答の流布等はClassroomを通じて行う。また、個別の質問や相談についてはメールで対応する。							
評価基準	課題レポートと授業への参加・関心・意欲・態度の加点法で算出する。上記内容について理解度と課題レポートの内容の合計が優れている者には、その程度に応じて「S」または「A」を与える。一定の水準を満たした者には、その程度に応じて「B」または「C」を与える。理解が不十分、課題レポートの未提出や不備があった者には、その程度に応じて「D」または「E」とする。なお、欠席多数(6回以上)の場合には評価不能「F」とする。							

授業 科目名	【G】	自然地理学Ⅱ	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
	【H】	自然地理学Ⅱ	選 択		【H】1		【H】2
科目名	【I】	自然地理学Ⅱ			【I】1		【I】2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス 自然環境としての地理学 予習： シラバスの学習内容を把握しておく(90分)。 復習： 大学周辺の自然史について整理する。(90分)						
2	地形成因比較 盤洲干潟と富津岬 予習： 事前に配布されている地形図の作業をしておく。(90分) 復習： 海岸地形の成因の違いについて整理する。(90分)						
3	海図の利用① Navigation 測位 航路の作図 予習： 事前に配布されている地形図の作業をしておく。(90分) 復習： 海図ワークシートの作業を完成させる。(90分)						
4	海図の利用② 海底地形 木更津の海苔養殖を事例として 予習： 事前に配布されている地形図の作業をしておく。(90分) 復習： 海図読解練習。(90分)						
5	空中写真判読 予習： 大学周辺の空中写真をダウンロードしておく。(90分) 復習： 自宅周辺の空中写真を用いて空中写真判読練習。(90分)						
6	アナグリフ地図・三次元地図の判読 予習： アナグリフと三次元地図について調べておく。(90分) 復習： アナグリフと三次元地図を用いて地形解析の練習。(90分)						
7	フライトシミュレーション (フライトナビゲーションの演習 AL) 予習： 小櫃川の上流から河口までのフライトシミュレート練習。(90分) 復習： フライトシミュレーションによる地形解析の練習。(90分)						
8	地球環境問題の理解① 地球温暖化 予習： 地球温暖化について調べておく。(90分) 復習： 地球温暖化の課題をまとめる。(90分)						
9	地球環境問題の理解② 砂漠化・酸性雨・オゾン層破壊・海洋汚染 予習： 砂漠化・酸性雨・オゾン層破壊・海洋汚染について調べておく。(90分) 復習： 砂漠化・酸性雨・オゾン層破壊・海洋汚染について整理する。(90分)						
10	地球環境問題の理解③ 人工改変の功罪 予習： 九十九里の海岸浸食についてWeb検索して調べておく。(90分) 復習： 海岸浸食について他の事例を調べてみる。(90分)						
11	自然と災害 東日本大震災の事例に学ぶ 予習： 東日本大震災について調べておく。(90分) 復習： 原子力発電の再稼働の是非について整理する。(90分)						
12	日本の気象災害 予習： 千葉県の気象災害の事例を調べておく。(90分) 復習： ゲリラ降雨やヒートアイランド等の都市型気象災害発生システムを整理する。(90分)						
13	気候変動と異常気象 予習： 近年の異常気象について調べておく。(90分) 復習： ゲリラ降雨やヒートアイランド等の都市型気象災害発生システムを整理する。(90分)						
14	ハザードマップの活用 (防災フィールドワーク AL) 予習： 木更津と出身地のハザードマップを入手しておく。(90分) 復習： 身近な地域の被害想定演習。(90分)						
15	清和大学と地域の防災 予習： 事前に配布されている地形図の作業をしておく。(90分) 復習： 大学と地域の防災について考察。(90分)						
その他	授業ごとの予習・復習時間は、それぞれ90分程度を目安としてください。						